

助動詞の定義

助動詞は()や()の度合いを示すために用いられるもので、動詞の原形の直前に置かれる。一つの助動詞が()の意味を有することが多い。

助動詞				

1. can

(1a) 現在における能力「～することができる」

彼はピアノを弾くことができますか。

—はい、弾けます。 / いいえ、弾けません。(×2)

Mary は緊張しているときにギターを弾くことができない。(×2)

(1b) 未来における能力「～することができるだろう」

正午までにそこにつくことはできないでしょう。(×2)

(2a) 可能性・推量「～でありうる」(肯定文)

「～なはずがあろうか」(疑問文)

誰もが失敗しうる。

喫煙はがんをひきおこしうる。

真実を述べることは極めて危険になりうる。

果たしてそれは本当だろうか。

(2b) 否定的推量「～なはずがない」(否定文)

それは真実であるはずがない。

それは Molly のはずがない。彼女はハワイに行ったんだから。

That () () Molly; she has gone to Hawaii.

(3) 許可「～してもよい」

先に食べていいですよ。

この本を読んでもいいですか。

しばらくあなたの部屋を使ってもいいですか。

(4) 依頼「～してもらえますか」(“Can you ~?”のかたちで)
宿題を手伝ってもらえますか。

郵便局へ行く道を教えてもらえますか。

2. could

(1) 過去における能力「～することができた」

高校生のころ、とても速く走ることができた。(×2)

小学生のころ、ほとんど英語を話せなかった。(×2)

(2) 可能性・推量「～かもしれない」

健康は幸せの秘密かもしれない。

運が良ければ彼は試験に合格するかもしれない。

(3) 丁寧な許可「～してもよろしいですか」(“Could I ~?”のかたちで)

あなたのノートパソコンを借りてもよろしいですか。

ほかに質問をしてもよろしいですか。

(4) 丁寧な依頼「～していただけますか」(“Could you ~?”のかたちで)

郵便局へ行く道を教えていただけますか。

一つお願いしてもいいですか。(×2)

3. may

(1) 許可「～してもよい」

テスト中に電卓を使用してもいいですか。 —いいですよ。

あなたに関する情報を弁護士に教えてもいいですか。

() () disclose information about you to the lawyer?

(2) 可能性・推量「～かもしれない」

クリスは数時間前にここを出た。もう家に着いているかもしれない。

Chris () here a () hours ago; he ()
() at home by now.

(3) 祈願「～するように」

この用法の場合、“may” は文頭に置かれる。

良い一日になりますように。

() () have a good day!

素晴らしいクリスマスと良い一年になりますように。

() () have a wonderful Christmas and a very happy New
Year!

(4) 希望・不安 (あえて訳出する必要はない)

君は化学のテストでカンニングをしたことで罰せられる可能性がある。

It is possible that you () be () ()
() cheating on the chemistry test.

婚約者の死因を娘に悟られないことを願っている。

I hope my daughter () () know () her
fiancé () away.

(5) 目的・譲歩 (あえて訳出する必要はない)

どんなことがあろうと勉強に集中しなさい。

() on your studies, () () ().

彼は親切そうに見えるけど、盲目的に彼のことを信じない方がいいよ。

() () he () (), you shouldn't
() him ().

みんなが聞こえるようにもっと大きな声で話してください。

() () in order that everyone ()
() you.

英語を完璧にするためにもっと一生懸命勉強しなさい。

() () () () you
() perfect your English.

彼女が何を言おうとも、嘘をついたことを私は許すつもりはない。

() she () say, I won't () her ()
lying.

= () () () she () say, I won't
() her () lying.

4. might

(1) 許可「～してもよい」

今夜は妹の世話で多忙です。今日の授業の復習を明日にまわしてもいいですか。

I'm busy () () my sister tonight. ()
() review today's lesson tomorrow?

(2) 可能性・推量「～かもしれない」

マキは授業中に一言も発さない。彼女は内気なのかもしれない。

Maki doesn't speak () () ()
(); she () () shy.

カホは時間通りに来るかもしれないが、確信は持てない。

Kaho () () () (), but I'm not
certain.

(3) 祈願「～するように」

この用法の場合、“might”は従属節内で用いられる。

私は神に長生きをさせてくださるよう祈っている。

I () that God () keep my life many years.

(4) 丁寧な提案「～したらどうですか」

再考してみてもいいかがですか。

You () () to think again.

同じ国の別のワインを試してみてもいいかがですか。

Perhaps you () () to () ()
wine from the same country.

5. must

(1a) 義務「～しなければならない」(肯定文・疑問文)

君はそれを記憶しなければならない。

You () () it () ().

日没までに私はその仕事を終えなければなりませんか。

() I () the job () by ().

私はそれを記憶しなければならなかった。

I () () () it ()
().

(1b) 禁止「～してはならない」(否定文で)

道にたばこを捨ててはいけません。

You () not () () cigarettes on the street.

(2) 確信「～にちがいない」

彼はもう帰宅しているに違いない。

He () () home by now.

ミチコは有能な医師なので、大金を稼いでいるに違いない。

Michiko is a () doctor; she () make a large amount of money.

彼がもう帰宅しているはずがない。

6. have [has] to

肯定文のとき

(1a) 義務「～しなければならない」

〔現在〕君はその仕事を正しく行わなければならない。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならない。(The project を主語にして)

〔過去〕君はその仕事を正しく行わなければならないかった。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならないかった。(The project を主語にして)

〔未来〕君はその仕事を正しく行わなければならないだろう。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならないだろう。(The project を主語にして)

疑問文のとき

(1a) 義務「～しなければならない」

〔現在〕君はその仕事を正しく行わなければならないのですか。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならないのですか。(The project を主語にして)

〔過去〕君はその仕事を正しく行わなければならないかったですか。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならないかったですか。(The project を主語にして)

〔未来〕君はその仕事を正しく行わなければならないのですか。(get を用いて)

その計画を間に合わせなければならないのですか。(The project を主語にして)

否定文のとき

(1b) 必要「～しなくてもよい」 = do not need to do

〔現在〕君はその仕事を正しく行わなくてもよい。(get を用いて)

その計画を間に合わせなくてもよい。(The project を主語にして)

〔過去〕君はその仕事を正しく行わなくてもよかった。(get を用いて)

その計画を間に合わせなくてもよかった。(The project を主語にして)

〔未来〕君はその仕事を正しく行わなくてもよいだろう。(get を用いて)

その計画を間に合わせなくてもよいだろう。(The project を主語にして)

(2) 確信「～にちがいない」 (“have (got) to be” のかたちで)

君は冗談を言っているに違いない。

You () () () () .

君は4時間連続で働いているんだ。ばてばてにちがいない。

You () () () for hours ()
() () . You () () be dead tired.

ユータはあまり勉強に励まない。しかし彼の成績を上げる方法があるにちがいない。

Yuta doesn't study () () . But there ()
() be a way to () his grades () up.

その生徒の死には何か理由があるに違いなかった。

There () () be a reason () the death of the
student.

7. will

(1) 意志未来「～するつもりだ」

<意志未来> — その場で決めたことを指す。

明日電話で彼と話すよ。

今夜、彼とスカイプ(Skype)で話すつもりなの？

A: ロバートが死んだんだ。 B: 本当に？彼の葬式に参列するよ。

A: Robert has died.

B: () () ? I () () () his funeral.

※<意志未来>でも事前に決めたことを表したいときは、“be going to”が用いられる。

A: ロバートが死んだんだ

B: 知ってるよ。彼の葬式に参列するつもりなんだ。

A: Robert has died.

B: I know. () () () () his funeral.

(2) 依頼「～してくれませんか」 (“Will you ~?” のかたちで)

塩をとってもらってもいいですか。

(3) 単純未来「～だろう」

デーブは来年17才になる。

明日は祝日だ。

明日には雨が上がるだろう。

スザンナは明日のお昼までにその仕事を仕上げるよ。

(4) 意志未来「どうしても～(しよう)しない」

(“3人称主語+won't+動詞の原形”のかたちで)

学校で習った事を復習するよう繰り返し催促したが、ユータはやろうとしない。

I've repeatedly () Yuta () review school lessons, but he ().

車がどうしても動かない。新しいバッテリーが必要だ。

My car () start; I need a new ().

(5) 現在における推量「～だろう」

この少年が警察が探している少年だろう。

This () () be boy the police have been (s () ().

今、ニューヨークでは小雨だろう。

It () () drizzling in New York

(6) 不変の真理「～するものだ」

男の子は女の子よりも足が速いものだよ。

A: リサとカホが大きな声で話しているから、仕事に集中できないよ。

B: 落ち着きなよ。子供は騒がしいものだよ。

A: I can't () () my work because Risa and Kaho are () so loudly.

B: Relax. Children () () () ().

事故は生じるものだよ。

(7) 現在の習慣「よく～する」

人は将来について心配するものだよ。

() () () be worried ()
() ().

聡明な学生は高得点をとるための計画を立てることが多い。

() students () () arrange plans to get high
().

優人はよく大口をたたく。

(8) 指図「～しなさい」

ボランティアとして受け入れられたら、このルールに従うことになります。

8. would

- (1) 過去の習慣「よく～したものだ」(“would often”のかたちで表されることが多い。)

父は持ち金の大半をお酒に費やしたものだ。

僕たちは放課後によくキャッチボールをしたものだ。

かつてはエッグズベネディクト(eggs Benedict)の作り方を知っていた。

- (2) 過去における拒絶「どうしても～しなかつた」(“wouldn’t”のかたちで)

二度と遅刻しないように彼に警告したが、どうしても聞こうとしなかつた。

繰り返し彼女をデートに誘ったが、彼女は私と話そうとすらしなかつた。

I () asked her out, but she () () talk to me.

- (3) 丁寧な依頼「～していただけますか」(“Would you～?”のかたちで)

もう少し大きな声で話していただけますか。

ここで喫煙してもよろしいでしょうか。

- (4) 現在における推量「～だろう」

金曜日に司法試験(bar exam)がある。彼女は緊張していることだろう。

ネクタイを締めていないことに君のお母さんは叱ると思うよ。

I guess your mom () () you ()
() not wearing a tie.

シャーロットはほら吹きなので、誰もが彼女を嫌っていることだろう。

(5) 控えめな見解「～と思う」

君は早稲田大に落ちたが、君は最善を尽くしたと思います。(say を用いて)

You were not () () Waseda University, but
() () you did all you could.

この会話を機密にしてはどうでしょう。(suggest を用いて)

() () that these talks () (c).

私はあまり楽しんでいないと言わざるを得ません。(say を用いて)

I () () () () I'm not having
much fun.

人付き合いの技術を身につけたいと思っています。(hope を用いて)

I () () () gain interpersonal ().

(6) 過去から見た未来〔時制の一致〕

君は僕に会いに来るって言ったよね？

君が仕事に遅れることは知っていたよ。

(7) (仮定法中で)推量「~だろう(に)」

もしもっと裕福なら、君はもっと幸せだろうに。

もし弁護士だったら君は何をしますか。

有能な医師ならば正確な予後をするだろう。

もしその写真を他の写真と差し替えていただければ幸いです。

9. shall

(1) 提案「～しましょうか」(主語が一人称)

私が到着したらメールを送りましょうか。

昼食に寿司を食べましょうか。

それを何と名付けましょうか。

(2) will の意志未来・単純未来の代用 (主語が一人称)

明日電話で彼と話すつもりだ。(×2)

(3) (契約・規則における)命令「～するものとする」

学生たちは家賃を期限までに支払うものとする。

Students () () () () paying
rent by () dates.

学生はアルバイトをしてはならない。

Students () () be permitted to work ().

10. should / ought to

(1) 義務「～すべきだ」 提案「～したほうがよい」

東京大学に入るために一生懸命勉強すべきだよ。(×2)

ケンはお女の娘を引き受けるべきではない。(×2)

私の子犬に何を食べさせたらいいですか。

(2) 推量「～なはずだ」「～だろう」

もし一生懸命勉強すれば、どんな大学でも入れるはずだ。(×2)

その仕事を終えるのに一時間しかかからないだろう。(×2)

11. dare

(1) 勇気「～する勇気がある」(疑問文・否定文)

彼は彼女をデートに誘う勇気がない。

彼女を訪れる勇気がない。

I () () () her a visit.

よくもまあ私のことを異常だと言ったものだ。

() () you () me insane!

12. had better

(1) 忠告「～したほうがよい」

毎日、草木に水をやりなさい。

彼女をデートに誘わないほうがいいよ。彼女は浮気者だから。

() () () ask her out; she is a two-timer.

13. need

(1) 必要「～する必要がある」(否定文・疑問文)

君たちの誰もそれを提出する必要がない。

() () you () () it
().

私は生徒たちに昼食をおごる必要がない。

I () () () my students to lunch.

私が彼に一杯おごる必要がありますか。

() I () () a drink?

※肯定文の場合や過去形の場合は、助動詞 need ではなく動詞 need を用いる。

転ぶといけないから、気を付ける必要がある。

You () () be careful () () you
() ().

期限までにそれを提出する必要があった。

I () () () () () in
time.

彼らが議論を始めたら私は中立である必要がある。

I will () () be neutral when they ()
().

14. しっかりと区別すべき助動詞

- (1a) 彼はティーンエイジャーにちがいない。
- (1b) 彼はティーンエイジャーのはずだ。
- (1c) 彼はティーンエイジャーのはずがない。

- (2a) (学校の都合により)君は月末までにその論文を提出しなければなりません。
- (2b) (家主の都合により)私は現金で家賃を支払わなくてはなりません。
- (2c) (話し手の都合により)君は夕食前に宿題を終えなければなりません。

- (3) 次の2つの英文のうち誤りがある選択肢を指定し、その英文を正しく直せ。
 - (ア) I could swim faster than my brother when young.
 - (イ) I could swim faster than my brother at the finals.

15. 助動詞+have+過去分詞

- ▷現在における過去のことに対する推量
- ▷現在における過去のことに対する非難・後悔

(1) 昨日、カホは4時間以上勉強したはずがない。

Kaho () () () more than four hours yesterday.

(2) 彼はその仕事口を断ったはずがない。(couldn'tを用いて)

He () () () () the job offer.

(3) ナチスによる大虐殺は回避できたかもしれない。(couldを用いて)

The Nazi holocaust () () () ().

(4) 事態はあっという間に悪化していたかもしれない。(couldを用いて)

Things () () () even ().

(5) 君はもっと一生懸命勉強できただろう。(couldを用いて)

(6) あまり飲み過ぎちゃだめよ。お風呂で溺れていたかもしれないわよ。

(couldを用いて)

Don't drink too much — You () () () in the bath.

(7) クリスは数時間前にここを出た。彼は急いでいたのかもしれない。(mayを用いて)

Chris () here a () hours ago; he () () () a hurry.

(8) ケントは甲陽園に住んでいたかもしれないが、はっきりとは分からない。(might
を用いて)

Kento () () () in Koyoen, but I don't know
() ().

(9) カレンは嬉しそうだ。かなりのボーナスをもらったに違いない。

Karen seems happy; she () () () quite a
large bonus.

(10) 真平は朝に家を出た。もうハワイに到着したはずだ。

Shimpei () () in the morning. He ()
() () () Hawaii by now.

= Shimpei () () in the morning. He ()
() () () () Hawaii by now.

(11) 米国はイラク戦争を始めるべきではなかった。というのもその戦争によって血みど
ろの内紛が勃発したからだ。

The U.S. () () () gone to war in Iraq,
() has () bloody internal conflict.

= The U.S. () () () () gone to
war in Iraq, () has () bloody internal conflict.

(12) 君はここに来る必要がなかった。僕は君にメールを送ろうと思ってたんだよ。